

9 消 防 費

1, 778, 488, 824円

項 目	ペ ー ジ
消 防 費	
防災対策費……………	497

防 災

常備消防としては、本年度も東京都に事務委託をし、東京消防庁青梅消防署を中心に多様化する災害への対応を図るとともに、防災および救急体制の充実に努めた。

消防団においては、任期満了に伴い、堀内一匡、松原正嗣両副団長をはじめ団員81名が3月31日付けをもって退職した。

青梅市消防団に対し積極的に協力いただいている市内1事業所に、青梅市消防団協力事業所表示制度実施要綱にもとづき、消防団協力事業所表示証を交付した。

また、消防団全体の連携強化および災害対応の向上を図るため、無線運用・情報収集等を行う震災対応訓練を実施したほか、自動体外式除細動器（AED）を各分団に1台ずつ配備した。

災害対策については、6月30日に河辺地区において土砂災害対応訓練を、8月25日に青梅市今井小学校校庭において総合防災訓練を実施し、防災関係機関相互の連携の強化、防災計画の運用習熟を図るとともに、市民の防災意識の高揚と災害対応力の強化を図った。

災害の被害を最小限にとどめるため、日ごろの備えや災害時にとるべき行動等をまとめた「青梅市民防災ハンドブック」を更新し、全戸配布した。

10月12日に東京地方を通過した台風第19号の影響で、市内各所で建物への浸水や土砂流出などの被害が生じた。

また、同日、大雨特別警報が発表されたことから、市内の土砂災害や浸水の危険がある区域内の居住者等に、避難勧告に重ねて避難指示（緊急）を発令した。

消 防 費

1, 778, 488, 824円

○ 防 災 対 策 費 （1, 778, 488, 824円） [防災課]

1 常備消防経費

(1) 事務委託費 1,365,942千円

(2) 青梅消防署の現況

ア 消防吏員数

(単位：人)

署・出張所	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	事 務	合 計
本 署	1	3	12	27	39	28	5	2	117
日向和田	0	0	1	8	14	13	2	0	38
長 淵	0	0	1	7	8	8	2	0	26
合 計	1	3	14	42	61	49	9	2	181

(歳出 9 消 防 費)

イ 車両保有数

(単位：台)

区 分	本 署	日向和田出張所	長 淵 出 張 所	合 計
消 防 ポ ン プ 車	3	2	2	7
ハ シ ゴ 車	1	—	—	1
化 学 車	1	—	—	1
救 助 車	1	—	—	1
救 急 車	2	1	2	5
広 報 車	3	—	—	3
指 揮 車	1	—	—	1
指 揮 隊 車	1	—	—	1
人 員 輸 送 車	1	—	—	1
山 岳 救 助 車	1	—	—	1
資 材 輸 送 車	—	1	—	1
指 揮 統 制 車	1	—	—	1
消 防 活 動 二 輪 車	—	3	—	3
合 計	16	7	4	27

※ 本署救急車1台、本署・長淵出張所消防ポンプ車各1台、日向和田出張所消防活動二輪車1台、長淵出張所救急車1台は非常用車両。

ウ 消防ポンプ車等の出動状況

(単位：延台数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
633	622	554	586	735	608	635	654	664	702	552	613	7,558

エ 救急車の出動状況

(単位：回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
470	485	425	456	551	473	507	495	537	552	457	466	5,874

2 消防団運営経費

(1) 消防団火災等出動状況

(単位：件、人、回)

火 災 出 動					水 災 出 動			そ の 他 出 動	
火 災 件 数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	1回平均 団 員 数	団員1人 平均回数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	
24	21	734	35	1.3	3	55	113	4,850	

(2) 消防団員等損害補償

損害補償の該当はなかった。

(3) 消防団員退職状況

(単位：人)

勤務年数	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年以上	合計
退職人員	18	15	34	14	3	1	85

(4) 消防団出初式

1月12日(日)、永山公園グラウンドにおいて、消防団恒例の出初式を挙行し、成績優秀な分団、部および団員ならびに消防団活動に協力のあった団体について表彰した。

また、市内1事業所に対する消防団協力事業所表示証の交付や青梅市青少年吹奏楽団の協力により、記念演奏を行った。

ア 市長表彰

無火災竿頭綬 第5分団

イ 団長表彰

表彰区分	被表彰者
永年勤続功労章	第5分団第4部 部長 黒田 耕
表彰状および表彰き章	第1分団第3部 副部長 根岸 宏行 以下 35人
精績章	第8分団第1部 部長 太田 吉彦 以下 50人
精勤章	第3分団第2部 班長 丹生 祐弥 以下 16人

ウ 分団表彰

表彰区分	被表彰者
表彰状	第32回西多摩地区消防大会出場分団 第7分団、第8分団

エ 一般表彰

表彰区分	被表彰団体
消防団の支援および発展に寄与した功績	団体 青梅市自治会連合会第5支会

(5) 消防団上部団体等からの表彰

ア 日本消防協会定例表彰

精績章 団本部 副団長 堀内 一匡

イ 東京都消防協会定例表彰

功労表彰 第1分団 副分団長 内藤 義則
以下3人

優良表彰 第1分団 部長 長沢 諭史
以下9人

ウ 東京都三多摩消防団連絡協議会表彰

優良表彰 第7分団

(歳出 9 消 防 費)

エ 西多摩地区消防団連絡協議会表彰
 功 勞 章 団 本 部 副 団 長 渡 邊 康 章
 以下 3 人
 精 績 章 団 本 部 副 団 長 堀 内 一 匡
 以下 15 人
 永 年 勤 続 功 勞 章 団 本 部 副 団 長 堀 内 一 匡
 以下 37 人

オ 救命講習普及業務功勞
 東京消防庁消防総監賞 団本部女性部 班 長 藤 井 純 子

カ 東京消防庁青梅消防署長表彰
 消 火 活 動 功 勞
 第 1 分 団 第 1 部 ・ 第 1 分 団 第 2 部 ・ 第 1 分 団 第 3 部
 第 2 分 団 第 5 部 ・ 第 2 分 団 第 6 部 ・ 第 8 分 団 第 1 部
 第 8 分 団 第 2 部 ・ 第 8 分 団 第 3 部 ・ 第 8 分 団 第 4 部

キ 国土交通大臣表彰
 水 防 功 勞 青 梅 市 消 防 団

(6) 消防団協力事業所表示証交付
 学校法人明星学苑 明星大学青梅校

(7) 消防団運営費交付金支給状況

支給総額 18,779千円 (単位：人、千円)

区	分	本 部	第 1 部	第 2 部	第 3 部	第 4 部	第 5 部	第 6 部	合 計
団本部	算定人員	548	—	—	—	—	—	—	—
	金 額	930	—	—	—	—	—	—	930
第1分団	算定人員	84	17	16	18	15	16	—	—
	金 額	612	422	406	439	389	406	—	2,674
第2分団	算定人員	83	11	14	15	13	15	13	—
	金 額	576	284	373	337	343	363	303	2,579
第3分団	算定人員	60	17	12	14	15	—	—	—
	金 額	533	396	340	373	363	—	—	2,005
第4分団	算定人員	68	12	11	11	12	10	10	—
	金 額	553	287	324	324	340	294	307	2,429
第5分団	算定人員	74	14	17	15	26	—	—	—
	金 額	583	373	423	389	591	—	—	2,359
第6分団	算定人員	59	15	16	15	11	—	—	—
	金 額	537	389	413	389	324	—	—	2,052
第7分団	算定人員	47	15	11	10	9	—	—	—
	金 額	504	390	344	307	290	—	—	1,835
第8分団	算定人員	57	14	15	14	12	—	—	—
	金 額	519	334	350	373	340	—	—	1,916

※ 団本部運営費については、女性部分（算定人員 11名 金額 206千円）含む

(8) 市内火災発生状況

ア 地区別火災発生状況

(単位：件、㎡、円、人)

分 団	建 物			林 野			そ の 他			合 計			死 者	傷 者
	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額		
1	1	30	1,766,100	0	0	0	1	0	200,000	2	30	1,966,100	0	0
2	4	190	25,779,675	0	0	0	0	0	0	4	190	25,779,675	0	2
3	7	0	28,440	0	0	0	4	0	215,816	11	0	244,256	0	1
4	1	2	79,180	0	0	0	0	0	0	1	2	79,180	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	8	46	14,782,150	0	0	0	0	0	0	8	46	14,782,150	0	0
合計	21	268	42,435,545	0	0	0	6	0	415,816	27	268	42,851,361	0	4

イ 月別火災発生状況

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	3	3	0	0	2	1	5	1	2	4	4	27

ウ 原因別火災発生状況

(単位：件)

放 火	煙 草	火遊び	ガステーブル	電気配線	暖房器具	たき火	花 火	その他	合 計
0	5	0	4	2	0	0	0	16	27

※ 火災原因その他内訳

焼却火 3 件、衝撃火花 1 件、冷蔵ショーケース 1 件、不明 5 件、発煙筒 1 件、鋳物 1 件、ブレーキライニング 1 件、炭火 1 件、調光器 1 件、ライター 1 件

(9) 消防団の活動

ア 西多摩地区消防大会

9月22日(日)、明星大学において第32回西多摩地区消防大会が開催され、小型動力ポンプの部に第7分団が、自動車ポンプの部に第8分団が出場した。

イ 消防団主要行事

月	日	行 事 内 容	実 施 場 所
4月	10日	西多摩地区消防団連絡協議会総会	青梅市役所
	16日	東京都三多摩消防団連絡協議会総会	パレスホテル立川
	26日	東京都消防協会総会	スクワール麴町
5月	11日	専科教育（警防科）	東京都消防訓練所
	25日	専科教育（機関科）	東京都消防訓練所
	27日	市内危険箇所打合せ	青梅市役所
6月	8日	専科教育（救急科）	東京都消防訓練所
	9日	震災対応訓練	市内各所
	15日	幹部教育研修（初級）	東京都消防訓練所
	30日	青梅市土砂災害対応訓練、青梅市消防団水防訓練	河辺地区
7月	30日	青梅市防災会議	青梅市役所
8月	3日	青梅市納涼花火大会特別警戒	永山公園グラウンドほか
	25日	青梅市総合防災訓練	今井小学校ほか
9月	7日	上級救命講習会	青梅消防署
	22日	第32回西多摩地区消防大会	明星大学
11月	2～3日	青梅産業観光まつり（消防団PRコーナー設置）	永山公園グラウンド
	9～10日	幹部教育研修（指揮）	東京都消防訓練所
	9日	消防ポンプ車・小型動力ポンプ点検	市内各所
	9～15日	秋の火災予防運動	市内全域
	10日	非常招集訓練、機関運用訓練	市内各所
12月	7日	専科教育（救助科）	東京都消防訓練所
	25日	消防団無線交信試験	市役所防災課・市内各所
	25～31日	歳末警戒	市内全域
	30日	歳末警戒分遣所巡視	市内各所
1月	1日	初詣特別警戒	市内各所
	12日	消防団出初式	永山公園グラウンド
	19日	青梅市防災講演会	青梅市役所
	23日	文化財防火デー 消防団・消防署合同演習	塩船観音寺
2月	9日	幹部教育研修（上級）	東京都消防訓練所
	16日	第54回青梅マラソン大会特別警戒	市内各所
3月	1～7日	春の火災予防運動	市内全域
	1日	山林パトロール	市内全域

ウ 備品の購入・配布状況

(ア) 消防ホース

(単位：本)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合 計
50	56	46	62	77	42	62	43	438

(イ) 防火服

(単位：着)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合 計
5	6	4	6	5	5	5	4	40

3 災害対策経費

(1) 防災講演会

「防災とボランティア週間」に合わせて、1月19日に青梅市役所において、自助、共助を原則とした市民の防災意識の高揚を図ることを目的として、防災講演会を開催した。

ア 講演 「自助・近助・共助でつくる災害に強いまち」

講師 山村 武彦 氏（防災システム研究所 所長）

イ 参加者 388人

(2) 震災および風水害等の対策

ア 台風第19号

(ア) 雨量の状況

観測地点	10月11日から10月12日 累計雨量 (mm)	時間最大雨量
市役所	437.5	40.0mm (12日・21時)
梅郷市民センター	541.5	48.0mm (12日・15時)
沢井市民センター	582.0	52.0mm (12日・15時)
御岳山	527.0	42.5mm (12日・15時)
小曾木市民センター	437.0	39.0mm (12日・21時)
第7分団第3部詰所	561.5	44.5mm (12日・21時)
今井市民センター	389.0	36.0mm (12日・21時)
アメダス青梅(新町)	403.0	40.0mm (12日・21時)

(イ) 風の状況

気象庁が、都農林総合研究センター青梅庁舎に設置しているアメダスによると、10月12日(土)の午後9時28分に最大瞬間風速16.5m/s(西北西)を観測した。

(ウ) 市の体制等

10月11日(金)15時46分 大雨注意報発表
 16時00分 第1号注意体制(災害対策連絡室設置)
 10月12日(土)4時14分 大雨警報(土砂災害・浸水害)発表
 洪水注意報発表
 強風注意報発表
 6時32分 洪水警報発表
 7時00分 自主避難場所開設(市役所・市民センター(順次))
 7時30分 土砂災害警戒情報発表
 8時30分 避難準備・高齢者等避難開始発令
 9時00分 第2号警戒体制(災害対策本部設置)
 第1回災害対策本部会議
 11時00分 避難場所開設(総合体育館)
 12時00分 第2回災害対策本部会議
 12時12分 暴風警報発表

(歳出 9 消 防 費)

	13時30分	第3回災害対策本部会議
	14時00分	避難勧告発令 第3号特別警戒体制
	15時10分	避難場所開設（小中学校（順次））
	15時30分	大雨特別警報発表
	16時30分	避難指示（緊急）発令
	17時00分	第4回災害対策本部会議
	20時00分	第5回災害対策本部会議
	23時00分	第6回災害対策本部会議
	23時55分	大雨警報（特別警報から警報） 強風注意報（暴風警報から強風注意報）
10月13日（日）	2時13分	強風注意報解除
	3時50分	土砂災害警戒情報解除 避難指示（緊急）解除
	8時00分	第7回災害対策本部会議 第3号特別警戒体制解除
	8時19分	大雨注意報（警報から注意報）
	16時52分	洪水警報および大雨注意報解除
10月16日（水）		第8回災害対策本部会議
10月18日（金）		第9回災害対策本部会議
12月10日（火）		第10回災害対策本部会議

(エ) 避難状況（各所滞In者最多時）

避難場所	世帯数	避難者数	避難場所	世帯数	避難者数
市役所	147	402	今井市民センター	56	136
文化交流センター	102	215	総合体育館	104	330
長淵市民センター	34	79	第一中	7	26
大門市民センター	46	123	第二小	57	155
梅郷市民センター	20	52	吹上小	5	11
沢井市民センター	50	92	第五小	69	173
小曾木市民センター	40	78	第六小	14	42
東青梅市民センター	25	56	第六中	7	18
新町市民センター	10	21	藤橋小	10	19
河辺市民センター	28	65	計	831	2,093

(オ) 被害状況

種別	件数	種別	件数
建物	53	がけ崩れ等	46
冠水（道路、民地等）	42	土砂流出入・堆積、損壊等	169
河川水路溢水	26	公共施設	39
合計	375		

建物被害における浸水被害は、床上浸水15件、床下浸水17件、その他21件、家屋被害は、全壊3件、大規模半壊2件、半壊4件、一部損壊44件だった。また、公共施設は雨漏り16件、施設の損壊15件、土砂の流入や崩落8件の被害が生じた。

(カ) 公共交通の運休

交通機関	時間帯
青梅線（青梅～奥多摩間）	10月12日7時頃から10月14日12時35分頃まで
青梅線（青梅～立川間）	10月12日12時頃から10月13日11時30分頃まで
都営バス	10月12日14時以降
西東京バス	10月12日20時以降
西武バス	10月12日13時以降
御岳登山鉄道	10月12日終日運休

(キ) 停電状況

地区	軒数	時間帯
黒沢1丁目から3丁目 成木5丁目、7丁目、8丁目 根ヶ布1丁目、2丁目 森下町 師岡町1丁目	約300軒	10月12日20時37分から22時32分まで
長淵2丁目 長淵5丁目 長淵9丁目	100軒未満	10月12日21時25分から10月13日0時19分まで
二俣尾5丁目	100軒未満	10月13日16時32分から20時24分まで

(ク) 災害救助法の適用

令和元年10月12日付けで災害救助法施行令第1条第1項第4号の規定にもとづき災害救助法が適用された。

イ 災害対策用備蓄品の購入

(単位：千円)

品名	規格	数量	金額	備蓄倉庫
ビスケット	50食入り	339箱	2,581	吹上小学校、吹上中学校、第三小学校、第三中学校、第四小学校、霞台中学校、大門市民センター、東青梅市民センター、河辺市民センター
米粉クッキー	48食入り アレルギー物質 (特定原材料等) 27品目不使用	9箱	82	
ビスケット (職員用)	50食入り	17箱	129	青梅市役所
アルファ化米	白米 50食入り	108箱	1,277	第四小学校、大門市民センター、東青梅市民センター
	五目 50食入り	70箱	1,005	
飲料水	1本あたり490ml アルミ製 1箱24本入り	209箱	662	第三小学校、霞台小学校、新町小学校、第一小学校、第二小学校、東青梅市民センター、沢井市民センター、河辺市民センター、文化交流センター

ウ 災害時等における応援協定等の締結について

名称	締結日	締結先
災害にかかる情報発信等に関する協定	4.10	ヤフー株式会社
災害時等における救出・救助の協力に関する協定	4.26	西多摩郡北部建設組合
特設公衆電話の設置・利用に関する覚書	9.2	NTT東日本 南関東 東京西支店

エ 青梅市における気象

(ア) 降水量

(単位：mm)

観測場所	降水量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市役所	月合計	89.5	114.5	273.5	334.0	253.5	186.5	686.0	84.0	40.0	82.0	3.0	101.5	2,248.0
	日最大	28.5	92.5	68.5	62.0	80.0	98.5	414.5	46.0	19.0	47.5	3.0	56.0	—
	時間最大	6.0	15.5	15.0	26.0	27.0	30.5	40.0	4.5	6.0	7.0	2.0	6.0	—
梅郷市民センター	月合計	83.0	129.0	328.0	338.5	254.0	163.5	839.5	90.5	39.5	84.0	2.5	99.5	2,451.5
	日最大	28.5	106.0	77.0	54.0	105.0	88.0	519.0	49.0	18.0	48.0	2.5	50.5	—
	時間最大	4.0	14.5	33.5	32.5	33.0	20.5	48.0	5.0	4.5	6.0	1.5	5.5	—
御岳山防災センター	月合計	69.0	126.5	292.5	309.0	239.0	142.0	824.0	91.5	30.5	88.0	3.5	77.0	2,292.5
	日最大	22.0	100.5	67.0	58.0	111.5	49.0	485.5	46.0	9.0	50.0	3.0	27.0	—
	時間最大	3.5	16.0	13.5	21.5	35.5	13.0	42.5	4.5	3.5	5.5	1.5	5.5	—
小曾木市民センター	月合計	99.5	121.0	276.5	318.0	234.0	221.5	711.5	77.5	35.5	90.5	2.5	87.0	2,275.0
	日最大	29.5	95.0	78.5	68.0	61.5	99.0	417.5	45.5	15.5	43.0	2.5	41.0	—
	時間最大	13.5	14.0	14.0	30.0	22.0	29.5	39.0	4.5	4.0	6.0	1.5	3.5	—
第7分団 第3部2班 詰所	月合計	84.0	137.5	322.5	334.5	333.0	199.5	840.5	99.5	34.5	99.5	2.5	114.5	2,602.0
	日最大	30.5	116.0	91.5	53.5	95.5	89.5	532.0	46.5	14.5	54.5	2.0	55.0	—
	時間最大	4.5	17.0	24.0	19.5	23.0	19.5	44.5	5.5	3.5	6.5	1.5	6.0	—

観測場所	降水量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
今井市民センター	月合計	83.0	113.5	267.0	269.5	270.0	176.5	621.0	87.5	37.0	80.0	3.0	97.0	2,105.0
	日最大	26.5	91.5	67.5	51.0	87.5	86.5	367.5	42.0	17.5	43.0	3.0	51.0	—
	時間最大	6.5	16.5	16.0	17.0	33.5	25.0	36.0	5.0	4.5	6.0	2.0	6.0	—
沢井市民センター	月合計	72.5	130.0	270.0	322.0	303.0	160.5	887.5	91.5	42.0	106.0	5.5	118.5	2,509.0
	日最大	26.5	113.0	76.0	54.0	131.0	83.5	553.0	49.0	19.5	61.0	3.5	54.5	—
	時間最大	3.5	16.5	21.5	20.5	43.0	18.5	52.0	5.0	4.5	7.0	2.0	5.5	—
アメダス青梅(新町)	月合計	91.0	106.0	294.0	277.5	303.5	197.5	650.0	86.0	42.5	89.5	5.0	99.0	2,241.5
	日最大	28.0	85.5	71.0	55.0	121.5	95.0	384.5	42.0	20.0	48.0	4.0	45.0	—
	時間最大	5.0	18.0	19.0	18.5	42.5	33.5	40.0	4.5	6.0	6.5	2.0	4.5	—

※ 平成31年4月に新町市民センターから今井市民センターへの雨量観測所の移設および沢井市民センター雨量観測所の新設を行い、観測を開始した。

(イ) 気温・風向・風速

(単位：℃、m/s)

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
アメダス情報	気 温	平均	日平均	12.4	18.9	20.8	23.4	27.3	23.8	18.2	11.4	6.5	5.4	6.0	9.3
			日最高	18.7	25.3	25.7	27.3	32.7	29.2	22.4	17.0	11.9	10.6	12.3	15.3
			日最低	6.4	12.8	16.8	20.5	23.7	19.9	14.6	6.7	1.7	0.5	0.1	3.4
	最 高	最 高	26.3	34.1	33.0	35.7	37.2	36.3	30.6	23.8	18.8	18.7	19.4	27.1	
		最 低	-1.4	4.3	13.2	17.1	20.5	15.9	8.8	-1.2	-2.6	-2.8	-6.6	-2.3	
	風 向	平均 風速	平均 風速	1.6	1.5	1.1	0.9	1.2	0.9	1.0	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5
			最大	風速	5.7	5.7	5.9	5.6	5.6	4.3	7.4	3.6	5.2	4.9	6.1
		最大 瞬間	風向	南南西	南	東	南	南	北西	東	北北東	北西	北北西	北北東	北西
			風速	11.4	13.8	10.9	11.9	13.3	16.9	16.5	8.3	11.9	11.6	14.2	16.7
	風 速	瞬間	風向	北北東	南	南南西	南	南	西北西	西北西	北北東	北西	北北西	北	北西
風速			11.4	13.8	10.9	11.9	13.3	16.9	16.5	8.3	11.9	11.6	14.2	16.7	

値)：準正常値…品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合

情報は気象庁が観測するアメダス情報による。

アメダス設置場所 都農林総合研究センター青梅庁舎(新町6-7-1)

(3) 青梅市防災会議

ア 青梅市防災会議委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎浜中啓一	市長		江本浩	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員	
大塚満	指定地方行政機関職員		百瀬澄雄		
渡邊信洋	自衛隊員	2.12退任	岩浪登		
入江大輔		2.13就任	清野光司		
西村健	都職員		高橋正		
播磨あかね			酒井政修		5.13退任
桐越浩		4.1就任	岩浪岳史		5.14就任
桑嶋康雄	警察官		久保稔		
石田孝二	消防史員		明石吉永		4.1就任
川鍋重美	消防団長		舘盛和		
池田央	副市長		金子典由		
岡田芳典	教育長		原島初江		7.11退任
生稲克己	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員	4.1就任	原田裕美子		7.12就任
宮沢文寿			小林弘政		
佐藤永一		6.30退任	伊藤浩		11.30退任
高山英一		7.1就任	野島壯一		12.1就任
濱田一統		9.30退任	宮口泉		自主防災組織代表者
遠藤智志		10.1就任	加藤めぐみ		学識経験者
梅田純一			原義人		病院事業管理者
中村洋介			星野由援		市職員
野崎啓太郎					

◎は会長

イ 防災会議の開催

月日	内容
7.30	令和元年度青梅市総合防災訓練について 青梅市地域防災計画の年次修正について

(4) 総合防災訓練

8月25日午前8時から今井小学校校庭等において、防災関係機関相互の連携強化および市民の防災意識の高揚と災害対応能力の強化を図るため、立川断層帯地震等を想定した総合防災訓練を実施した。

(5) 自主防災組織等運営費交付金

ア 運営費交付金

自主防災組織の運営費として、11組織に対し各131,000円を交付した。

イ 防災士育成事業交付金

自主防災組織の強化および防災リーダーの育成を図るため、防災士の資格取得にかかる経費として、5組織に対し総額312,720円を交付した。

また、11月24日に防災リーダーの育成を目的とした防災リーダー講習会を実施し、防災士や自主防災組織等から34人が参加し、水道キャラバンとして震災時における水道への備えについて講習を受講。さらに、応急救護等の訓練を行い、防災リーダーの育成を図った。

(6) 市内危険箇所調査

5月27日に関係官庁および消防団による市内危険箇所の打合せ会を開催し、各危険箇所に関する対応を協議した。

また、その結果は、7月11日に開催した青梅市防災機関事務担当者会議で防災会議機関に報告した。

なお、危険箇所は、次のとおりである。

ア 法律等にもとづく箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	勝沼2-205-60 ほか	石積倒壊	石積の倒壊の危険性がある。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
2	根ヶ布1-652-9	擁壁倒壊 土砂流出	擁壁の整備および土砂流出の 予防措置が不適切と思われる。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
3	根ヶ布2-1372-63	斜面崩壊	法面の保護がなされていない ため、家屋へ危険を及ぼす恐れ がある。	一部土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
4	梅郷6-1535-4 付近	斜面崩壊	多摩川右岸の傾斜面が雑排水 等により一部崩壊しており、さ らに崩壊する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
5	友田町1丁目地内	建物浸水	家屋が浸水する危険がある。	多摩川に係る浸水想定区域 洪水予報個別対応地区

イ 過去に被害が発生した箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	今寺1-808-13 付近	建物浸水	大門川の溢水により床下浸水 および道路・宅地が冠水した。	
2	今井3-4-24付近 ほか	建物浸水	大雨の際に道路冠水、床上・床 下浸水および工場浸水があっ た。	

ウ 地形等から危険が想定される箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	柚木町1-194先	建物浸水	大雨により多摩川が増水した際、民間保養施設への被害が想定される。	
2	河辺町1-800付近	斜面崩壊	南斜面にオーバーハングが見られ崩壊の危険がある。崩落発生の場合は、建物3棟に影響の恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
3	畑中2-149-2付近	斜面崩壊	住家から4～5m離れたところが垂直な崖となっており、大雨・地震等による崩落があると、人的被害が考えられる。	土砂災害特別警戒区域
4	長淵1-21-12付近	斜面崩壊	多摩川右岸の住宅下、傾斜面3箇所が一部崩落しており、さらに崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
5	吹上132-1先	擁壁の倒壊 家屋の傾き	擁壁の倒壊の危険性および家屋の傾きがある。	宅地造成等規制法にもとづく規制区域
6	二俣尾4-1194付近	斜面崩壊	住宅南側斜面が崩落しており、年々崩落が進んでいる。	土砂災害特別警戒区域
7	千ヶ瀬町1丁目地内	崖線崩落	多摩川崖線が小規模崩落している。	土砂災害特別警戒区域

(7) 土砂災害対応訓練

6月30日午前10時から市庁舎災害対策本部室、河辺市民センターおよび河辺小学校において、関係機関相互の協力体制の緊密化および防災計画の習熟化を図り、市民の防災意識を高めることを目的として実施した。

(8) 家具転倒防止器具等支給取付事業

家具転倒防止器具等を支給し、取付けを行うことにより、震災時における人的被害の軽減を図ることを目的として実施した。

支給・取付世帯数

該当要件	立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域内の世帯のみに該当	高齢者世帯のみに該当	障害者世帯のみに該当	複数の要件に該当	合計
世帯数	31	3	0	48	82

※ 立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域

駒木町2・3丁目、長淵1～5・8・9丁目、友田町、千ヶ瀬町1～3丁目、吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺、畑中3丁目、和田町、富岡、小曾木1・2・4・5丁目、成木1・2丁目、東青梅、師岡町、新町、末広町、河辺町、藤橋、今井内の世帯（丁目表示のないものは、その町名区域内全域が対象）

(9) ブロック塀等撤去費補助金交付

道路に面したブロック塀等の撤去を行った25件に対し、総額1,986,000円を交付した。

(10) 国民保護協議会

国民保護協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎浜中啓一	市長		梅田純一	指定公共機関、 指定地方公共 機関の役員 または職員	
渡邊信洋	自衛隊員	2.12退任	中村洋介		
入江大輔			2.13就任	野崎啓太郎	知識経験者
齊藤俊之	都職員	4.1就任	江本浩		
播磨あかね			百瀬澄雄		
桐越浩		4.1就任	岩浪登		
桑嶋康雄			高橋正		
石田孝二		消防吏員		酒井政修	
川鍋重美	消防団長		岩波岳史	5.14就任	
池田央	副市長		久保稔		
岡田芳典	教育長		明石吉永	4.1就任	
生稲克己	指定公共機関、 指定地方公共 機関の役員 または職員	4.1就任	舘盛和		
宮沢文寿			金子典由		
佐藤永一		6.30退任	原島初江	7.11退任	
高山英一		7.1就任	原田裕美子	7.12就任	
濱田一統		9.30退任	原義人	市職員	
遠藤智志		10.1就任	星野由援		

◎は会長

4 消防施設維持管理経費

消火栓の設置

(単位：基)

	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合計
新設数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
撤去数	△1	0	0	0	0	0	0	0	△1
増減	±0	0	0	0	0	0	0	0	±0

5 防災行政無線維持管理経費

(1) 固定系

市内126か所に設置している固定系受信所の機械・設備等の点検を目的として、1日1回(4月～9月は午後5時、10月～3月は午後4時)のチャイム放送を実施した。また、小学生の下校時に合わせ、小学生の見守り放送を行うとともに、臨時放送(火災の発生・鎮火など)を実施した。

(2) 移動系

災害時における情報の伝達・収集に活用した。

(歳出 9 消防費)

6 避難行動要支援者支援対策経費

避難行動要支援者名簿の平常時からの名簿提供の意思確認と名簿の更新を行った。

区 分		登 録 者 数	備 考
避難行動要支援者名簿	災害時	11,069人	
	平常時	6,970人	

7 消防施設整備経費

(1) 備品の購入・配布状況

品 名	区 分	配 布 先	数 量
小型動力ポンプ	更新	第5分団第4部	2台
背負い式散水装置	更新	第4分団第4部以下3部	3台
自動体外式除細動器	新規	第1分団第3部以下8部	8台

(2) 防火水槽撤去設計委託

(単位：千円)

種別	委 託 内 容	契約金額	受 注 者	施 工 場 所	契約工期
市単	防火水槽撤去設計委託	3,135	(株)ダイエーコンサル タンツ 東京支社	勝沼1丁目地内外	5.31~9.17

(3) 防火水槽撤去工事

(単位：千円)

種別	工 事 内 容	契約金額	受 注 者	施 工 場 所	契約工期
市単	防火水槽(丸型40 ^m ³ 級)撤去	5,876	大館建設工業(株) 青梅支店	西分町3丁目地内	5.21 ~8.28
市単	防火水槽(角型40 ^m ³ 級)撤去	11,196	大館建設工業(株) 青梅支店	勝沼1丁目地内	10.11 ~1.22

(4) 防火水槽新設工事

(単位：千円)

種別	工 事 内 容	契約金額	受 注 者	施 工 場 所	契約工期
市単	防火水槽(丸型60 ^m ³ 級)新設	17,468	五大機工(株)	勝沼3丁目地内	10.18 ~3.18

8 防災行政無線整備経費

固定系防災行政無線の難聴地区対策として、梅郷地区の土砂災害警戒区域を対象に簡易受信システムを整備した。

9 急傾斜地崩壊防止事業経費

急傾斜地崩壊防止工事に当たり、東京都に対し、3地区の負担金を支払った。

(単位：円)

名 称	金 額	市 負 担 率
河辺町1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	5,763,516	10%
長淵1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	2,020,420	
千ヶ瀬町1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	7,761,516	